

令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」は、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に、全国の5年生を対象に行われています。

残念ながら自然に囲まれているのは北海道の子どもたちは、他府県の子どもたちに比べ、運動する機会が少なく、時間も短い傾向があります。それに伴って、全国体力・運動能力、運動習慣等調査においても、改善は見られるものの、依然として全国の平均を下回る状況となっています。本校の結果は、以下のとおりです。

● 本校の過去5年間でみるストロングポイント ●

男女とも ○握力（筋力）
○長座体前屈（柔軟性）
○ソフトボール投げ（投球能力）

● 本校の過去5年間でみるウィークポイント ●

男女とも ○20mシャトルラン（全身持久力）
○50m走（巧み性・疾走能力）
女 子 ○上体おこし（筋パワー・筋持久力）

● 本校の本年度の結果 ●

○本校の過去5年間の結果と比較すると、本年度の本校の結果は、男子やや低く、女子は上昇傾向にあります。

○男女とも、学校以外で運動をしている児童の割合が少なく、地域や家庭で運動をするのが少なくなっています。男子は、「運動が好き」「体育の授業は楽しい」と考える子どもの割合は高いですが、女子では割合が低くなっています。

この結果を踏まえ、日常の体育授業における学習展開や指導方法の改善、休み時間での遊び、児童会の体育イベント等の取組をとおして、子どもたちの体力・運動能力の向上を図っていき、より教育活動を充実させてまいります。

● 本校の体力向上の取組 ●

○休み時間を利用した「持久走、鉄棒（体育館の鉄棒コーナーの設置）、縄跳び、用具を使った運動遊び、伝承遊び、サーキットトレーニング」の取組

○体力テストを「全学年・全種目」を実施し、6年間の記録を残し、個人票を配布し、成長を励ますとともに、検証する。

ご家庭におかれましても、運動習慣の定着に向け、発達段階に応じて除雪や風呂掃除等含め、体を動かす場を設定するなど工夫をお願いいたします。